

No.17

1994年

(平成6年)



発行

旭川荘厚生専門学院  
同窓会

岡山市祇園地先

TEL (086) 275-0145

FAX (086) 275-3283

編集責任者

同窓会会長 堀内 絹江

ごあいさつ

皆様お元気ですか

同窓会長 堀内 絹江

卒業後二十一年のキャリアをお持ちの第一期の方から、この春果立ったばかりの方まで、それぞれに仕事に、育児家事に追われながらもお元気で活躍のことと存じます。

昨年夏の冷夏、長雨で米不足が騒がれ、スーパーに並んだ列にあなたの姿はありませんでしたか。この米パニックを通して、お米を作っている父や母、そして農家の皆さんの恩恵を思い知らされた私です。何気なく過ごしている日常生活で、気付かなかった人々の支えがたくさんあることを改めて考えずにはいられません。また、自然の恵みの偉大さを痛感しました。今年はずの外敵がい善さですが、総り多い年であって

欲しいと願わずにはいられません。同窓会とて、卒業生の一人ひとりが存在します。卒業生がいるかぎり同窓会が存在し、母校という礎があるからこそ私達がいると言えないでしょうか。このような縦横網の目の組織から、助け合い支え合う力が生まれ、その中で我々が生かされているのだと考えられます。

学院卒業後、各職場で、それぞれの家庭での自分の置かれた立場に立って、時には涙を流しながら、あるいは、汗をぬぐいながら努力して、社会生活を、医療や福祉の現場を、会社を支えている皆さんや、更には、何らかの都合で同窓会の声が届けられない、いる方々にも、母校はもちろん、同窓会もいささかなりとも皆さんの応援ができたらと念じております。

母校も社会の要望にこたえるべく発展を続け、学科の新設・増員により、教職員六〇余名、在学生も七七〇余名、同窓会員も総数三五九八名と発展しておりますことは、何にもまして喜ばしいことと存じます。

さて、今年度は、総会の開催年に当たります。別項のご案内のように、江草安彦旭川荘理事長・名替学院長先生のご講演を頂くことになっておりますので、ぜひ、あなたの姿やお声を総会にお届けください。お待ちしております。



卒業後二十一年のキャリアをお持ちの第一期の方から、この春果立ったばかりの方まで、それぞれに仕事に、育児家事に追われながらもお元気で活躍のことと存じます。

同窓会総会・懇親会のご案内

日時 平成六年九月一日(出)一〇時から一四時(予定)  
場所 岡山ターミナルホテル  
岡山市駅元町一ノ五 (JR岡山駅東口右手のビル3階)  
(電話〇八六(二三三)三三三)

日程  
\*総会 一〇時〇〇分 開会(約一時間の予定)  
(事業報告・決算報告・役員選出・事業計画・予算案など)  
\*講演 一時〇〇分(約一時間の予定)  
演題 「医療福祉と人材育成への期待」  
講師 旭川荘理事長・名替学院長 江草安彦先生  
\*懇親会 二時〇〇分(約二時間の予定)  
参加費 三千元(当日ご持参ください)  
場所 総会会場と同じ。

☆総会・講演会までのご出席は無料です。また、本年は支部総会は行なわれませんので、ぜひ本部総会・懇親会へご参加ください。  
☆自家用車での参加はご遠慮ください。懇親会もありますし、駅ビル付近は工事中で、駐車場が近くにありません。

参加申し込み  
ハガキに左記の要領でご記入のうえ「同窓会事務局」宛  
八月二〇日(期日厳守)までにお申し込みください。

九月一〇日の旭川荘厚生専門学院同窓会総会・懇親会について

総会・懇親会に出席します  
または  
懇親会だけに出席します

氏名  
住所  
(電話番号)  
宛先  
〒703-0000  
岡山市祇園地先  
旭川荘厚生専門学院 内  
同窓会事務局(総会係) 行

平成六年度 第二三回学院祭のご案内

☆テーマ The Do-It-yourself  
☆日時 十一月五日(出)十一月六日(回) 於 学院  
\*お問い合わせは発展し大きく美しくなった母校をお訪ね下さい\*

# 「あいさつ」 良い組織の基準

学院長 末光 茂



いま、企業を評価する基準が大きく変化しつつあります。昔までは、大企業に代表される、会社の規模や売上高の大きさが大きいほど「良い会社」でした。その後は、利益率が重要な評価基準になりました。そして最近では会社の活力度、社員の充足度が重視されるようになってきています。

同じようなことが医療・福祉の療育でも言えるようです。大規模病院即「良い病院」とかというところ、必ずしもそうではないし、大規模施設即、「良い施設」とも言いがたい状況になってきています。むしろ利用者本位であるかどうか、職員一人ひとりが意欲的に、夢と希望を持ちながら仕事に励んでいるかどうか、そして新しいニーズに果敢に取り組みつつある、将来性豊かな組織であるかどうか、が問われていると思います。

婦国家試験一〇〇%合格と卒業生全員就職、介護福祉科一学年二クラススタート、一八才人口激減期の中での受験生の増加、そして新年度には児童福祉科の「福祉レクリエーションワーカー」身体障害者スポーツ指導者の認定校の許可、保母資格を有する人を対象とした一年課程の介護福祉コース「福祉研究科」申請に向けた準備等が着実に進んでいます。同窓会各位には、厚生専門学院への変更をお願い申し上げます。

## 人事異動について

○退任の先生 (三月三十一日付)  
顧問(研修センター所長)  
吉田 三郎先生

介護福祉科  
人見 五枝先生  
吉浦 昌彦先生  
三村 清子先生  
三浦 都子先生  
人見 和彦先生  
(児童院へ)

○新任の先生 (四月一日付)  
顧問(研修センター所長)  
在里 栲志先生

教務・学生課長・寮監  
森 団先生  
元川 三木恵先生  
介護福祉科

看護科  
村上 文子先生  
(児童院から)

看護科  
中智恵美先生  
野間 雅衣先生  
(同窓生)

看護科  
岩本美代子先生  
佐古 文栄先生  
(四月二日付)

看護科  
濱森 雪路先生  
(同窓生)

看護科  
配置替え (四月一日付)  
講師(顧問から) 阪本 暁夫先生  
顧問(顧問から) 民實 政枝先生  
(教務・学生課長・寮監から)  
沖永 裕先生  
教務・学生課(可書から) 坂口 直美先生  
図書館 司書(教務・学生課から) 川口千恵子先生

## 同窓会員数

| 平成6年3月現在 (平成6年3月卒業生数) |               |
|-----------------------|---------------|
| 同窓生総数                 | 3,598名 (261名) |
| 保育科・児童福祉科             | 883名 (47名)    |
| 福祉科・介護福祉科             | 238名 (50名)    |
| 福祉情報科                 | 60名 (21名)     |
| 第1看護科                 | 1,109名 (88名)  |
| 看護科・第2看護科             | 1,308名 (55名)  |

## 本部・支部 役員名簿

◎本部役員(任期二年)  
本年が改選期に当たりますので、九月の総会まで現役員が担当。

会長 堀内 綱江 (看 1)  
他の役員は、昨年の「たより」をご参考に。

◎支部役員(任期二年・各支部とも昨年改選)  
支部長以外の役員は、昨年の「たより」をご参考に。

## 学院だより

- 岡山支部  
支部長 西野 順子 (看 1)
- 広島支部  
支部長 松田 恵尚 (2看12)
- 関西支部  
支部長 小西 敬子 (看 1)

### 入試情報

- 入学試験期日の決定(全学科同日)  
推薦入試 十一月十三日(日)
- 一般一次入試 一月二十九日(日)
- 一般二次入試 三月五日(日)
- 合格者は推薦・一般一次でそれぞれ定員の約半数ずつ、二次は欠員補充が主となるため合格者はごく少数になりそうです。
- 試験場は、すべて本学院です(推薦のみ那覇市でも実施)。
- 願書受付は、試験日の約一カ月前からです。
- 入試要項・願書は学院入試事務室宛、郵便為替(七〇〇円)同封の上請求のこと。

### 看護婦国家試験一〇〇%合格

昨年に引き続き、今春の国試も全員合格し、学生・教職員一同たいへん喜んでます。更に充実した教育に心掛け、社会の要望に応える努力を続けます。

### 介護福祉士受験講座

学院は国家資格希望者に対する支援策として、介護福祉士国家試験を受験するための第六回目の講習会を、八月二日から二四日の三日間、学院で開催します。

昨年は介護実習を修得しようとする方を含む八〇余名が受講され、うち三〇名余りが今春の国家試験に合格され喜びました。

### 主な年間行事

- ◎入学宣誓式(4月4日)  
児童福祉科五三名、介護福祉科一〇二名、福祉情報科三四名、第1看護科九六名、第2看護科五六名、総計三四一名が入学された。
- ◎高校生対象の夏期講習会  
高等学校在学中の女子高生を対象に開催。学院学生もボランティアで協力する。
- \*音楽講習会・医療福祉情報講習会 (8月1日・3日)
- \*ボランティアスクール (8月4日・6日)
- ◎修学旅行(9月6日・9日)  
各科の二年生と第2看護科一年生がクラスを離れて実施。北海道南部、関東(東京・埼玉)、高知、沖縄の四方面へ希望別に参加し、行き先で社会福祉施設や病院の見学と交流を行います。
- ◎戴帽式(10月7日)  
第1看護科、第2看護科の一年生が学院講堂に於いて、保護者・来賓臨席のもと、看護婦(士)の道へ進む決意を固める。
- ◎キャンドルサービス(10月12日)  
児童福祉科、介護福祉科、福祉情報科の各一年生が学院講堂に於いて、保護者・来賓臨席のもと、福祉の道へ進む決意を固める。
- ◎第二三回学院祭(11月5日・6日)  
学院生の自主的活動によって実施する。各科・有志の研究成果やだしもの中心になり、地域の方々もたくさん見学に訪れます。
- ◎卒業演奏会(2月28日)  
児童福祉科二年生の学習の総まとめとして、石関町の岡山県総合福祉会館にて開催する。
- ◎卒業証書授与式(3月15日)  
卒業予定者三〇〇余名の卒業を、多数のご来賓・ご家族の皆様を学院講堂に迎え、共に皆さんの前途を祝福する。

## 支部だより

## 岡山支部

支部長 西野 順子(看1期)  
 向暑のみぎり、同窓生の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

岡山支部も、岡山在住の同窓生や、学院の先生方、事務局の方々の協力により、会員のためにいささかでもお役にたてばと、努力を進めていくところでございます。

同窓会のお世話をさせて頂いて感ずることは、同窓生の職場や住所がまぐるしく移りかわっていることです。より良い職場を目指すこと、また、幸せな結婚とそれに伴う退職など、止むを得ないことも知れませんが、これからの高齢化社会に対応する地域福祉や看護を進展させていくうえで、学院卒業生は絶対に必要な人材でございます。このような視点からも皆様の永続性をもった活躍と、ますますのご発展を期待しております。

さて、本年度の本部総会が九月に行われることが決まりましたので、支部総会は過去の二月開催を、平成七年十一月ごろに延期したいと考えております。改めてご案内を致します。また、この機会を場所も含めて同期会などにご活用下さっても結構と考えていますので、ご予定など今からお考えください。その節には、よろしくお願ひ申し上げます。

## 広島支部

支部長 松田 憲尚(2看12期)  
 同窓会の皆様お元気で活躍のことと存じます。

広島支部の第三回支部会は明年七月ごろに開催の予定です。場所・日時が決まりましたら改めてご連絡を致します。前回の支部会では家族で集まれる機会ができたらしいのだが、とのご意見もありました。皆さんのご意見を聞かせて頂ければと思っております。

さて、私ごとですが、今春、卒業後初めての同期会を持つ機会があり、少人数でしたがいっしょに楽しいひとときを過ごしました。皆さんそれぞれ仕事に、家庭に、あるいは結婚後職場復帰をされて頑張っておられる様子伺い、私も改めて元気を取り戻したことでした。現在も病院のOP室での忙しい日々を送っていますが、学院を卒業し、同窓生の皆さんと会うことから意欲と頑張りが続いているのではないかと思います。皆さん、元気で頑張ってください。次回の支部会にご参加下さいますようお願いしております。

連絡先  
 〒七二〇一四  
 福山市加茂町芦原四三四  
 Ⅱ 〇八四九七二四二二九九

関西支部  
 支部長 小西 敬子(看1期)  
 同窓生の皆様お元気ででしょうか？  
 来年は第三回関西支部同窓会の年にあたります。日時と場所が決まりましたら改めてご案内をいたします。同じ関西在住であってもなかなか会う機会がもてませんね、だからこそ出席して下さい。一人ではどうも参加しにくいという方もいらっしゃると思いますがどうしているのかなと懐かしく思ったら、ぜひ連絡をとり同窓会参加を約束しましょう。きつと楽しいひと時になりますよ。

役員一同、有意義な関西支部同窓会にとがんばりたいと思います。関西在住の方に限らず支部結成がまだ

のところの方もぜひ参加して下さい。お待ちしています。

連絡先  
 〒五七二  
 大阪府寝屋川市東大和町二二一  
 Ⅱ 〇七二〇二七二九一五

恩師からの  
 おたより



守屋芳子先生

元神戸社会保険看護専門学校  
 教務部長  
 現住所  
 〒六五一一一  
 神戸市北区鈴蘭台東町一八八一二  
 コーポ松陽四〇二号  
 (元第一看護科教務主任)

梅雨の晴れ間に緑が一段と映え、今年はずいぶん六月でしたね。同窓生の皆様お久しぶりです。月日の流れに驚きつつ、学院在職一七年間のことを回顧致しております。

何と言いましても、旭川在厚生専門学院は私にとって、教育職としての原点です。皆さんとの出会いの中で、私も成長することが出来ました。皆さんが卒業後各県で活躍され、着実に母校の名を高めておられる姿に、心からエールを送ります。そして、このことが学院発展の要になっていくと確信致しております。

私は昭和六三年に学院を退職しましたが、その後、大阪済生会病院の副総経理、神戸社会保険看護専門学校校の教務部長を経て、今年三月定年



二宮 稔先生

元旭川在厚生専門学院 副学院長  
 現住所  
 〒七〇一〇一  
 岡山市田益一四二五  
 (現在 学院 自然科学奨励論担当 非常勤講師)

卒業生の皆さん、お元気で活躍のことでしょう。私も変化の早い、わかりにくい時代の中で、老害人間にならぬよう心掛けながらあれこれやっています。

さて、私の住む岡山市田益は、蛙歌い、笹舞う小さな村でしたが、ここ数年、山陽自動車道など幹線道路の建設が進み、急速に都市化しています。今もこのお便りをゴーゴーと工事の音が聞こえるなかで書いています。私も地域のお世話をさせて頂いている関係で、いろいろとこれらに対応してきました。その中で特に印象に残ったことがあります。

それは、国立岡山病院がこの田益に建築されることが決定したことです。敷地七万平方メートル、平成十一年開業予定という国立総合病院として

退職いたしました。今まで私を支えてくださいました多くの方々、そして健康に感謝し、二年間の研修後、現在はボランティア活動をしております。

終わりになりましたが、お目にかかれる日を楽しみにしながら、同窓生皆様の発展とご健康をお祈りいたします。

同窓生からの  
おたより

## ◆保育科・児童福祉科◆

保育科 盛上さつき (岡山県第2期生 (旧姓 岸光) (勝央町))  
 学院同窓生の皆様こんにちは。また、同期の卒業生の皆様お元気でいらっしゃいますか。学院を卒業しては、二十一年、何と時の過ぎのはやいものでしょうか。でも、私の頭の中には、あの頃の字びっしり、山々の緑、まわりの景色が鮮明に映し出されています。そして、数多くの思い出も駆けめぐっています。

私は現在、保育園に勤務させていただいています。十七年間の歳月の中で、保育の見直しと、保育に携わる者として、前向きな気持ちを持ちながら学びたい、昨年より某短期大学・保育科の通信教育を開始。昨夏は、職場、家庭の協力で三週間のインターンシップを受講。学院、高校時代の友だちの家に

は中国地区最大のものです。国からこの計画が示されて以来、国、地元、地権者の間で数年にわたって協議が続けられ、この度やっと合意ができました。この間にはいろいろとありましたが、どんな事業も人間が考え、人間がすることです。いくら時間がかかっても、いわゆる建前論でなく、腹の底から出る人間の声で話合ったことが、結果的には犠牲的協力までも得ることができるということを体験させて頂き、感謝しております。

皆さんもお仕事をされる際には、苦しいことも多いでしょうが、声を出し合い励まし合って頑張ってください。きつと道が開けることでしょう。

も泊まらせていただきました。この期間中は、多くの人たちと出会い、友だちもできました。本場にすばらしい保育の勉強、人生の勉強をするのができました。四十の手摺いと自分自身、苦笑していたのですが、白髪の老女の方も、保育を学びたいと熱っぽく語られ、私に強い刺激を与えて下さいました。今年もまた、スターリングが待っています。家庭と職場の忙し中でどう取り組んでいくか、自分なりに苦心をしていますが何か心弾むものを感じています。自分なりに有意義に年齢を重ねたく、笑みならず、でも懸命にとり組もうと思っています。

保育科 藤代 (長崎市) 第3期生 (旧姓 佐藤)

突然の事でビックリしましたが、私の事を思い出して貰えるチャンスだと思いい手を承知してベンを取りました。卒業して四年間精進施設で働き、その後結婚。主人は左官、私は農業、枇杷・野菜等作っています。四年間突然主人の左目が悪くなり、もう左目は良くなることは悪くないだろうと、二年前ある健康を守る会に出会い、生命学を二人で勉強し、今では生命の作用で人の身体の痛み、重みがわかり、軽くすることが出来ます。主人の左目も近い将来見えるだろうと確信しています。

主人の病気で悩み、苦しんだ日々でしたが、明るい将来に向けて家族共々に頑張りたいと思っています。話は変わりますが、長崎にお出での節には、いくらかご案内出来ます。お電話下さい(〇九五八・三三六〇四八四) 保育科 黒川 栄子 (宮城県) 第6期生 (旧姓 関永) 仙台市

御無沙汰しておりますが、皆様お元気でお過ごしのことと思います。学院を卒業して十数年も経つんですね。大声で歌いながら、自転車をこいだ旭川の土手。その風景、そして曲名どころか、歌詞までが、鮮明によみがえり、ついこの前の出来ごとの様です。でも、年輪のように刻まれたしわと、身体中に蓄えられた脂肪がその歳月を物語り、私を現実へと引き戻してしまおうのです。(かくっ)

結婚と同時に、保育の仕事は辞めてしまひ、現在四年(大輔)三年(美紅)の子どもたちの母として、そして子ども以上に手のかかる主人の妻をしつかり

(?)努めています。子どもたちの寝顔を見ながら、ちよびりおこりすぎたかなと反省する日もあるのですが、保育科で学んだこと、そして、療育園で実践の中で、子どもたちと共に学んだことが、我家の中で生かされていると自信を持って言いきれるよう、これからも前向きにがんばろうと思っています。

保育科 土屋 敦子 (岡山市) 第7期生 (旧姓 石崎) 平井

みなさん、こんにちは。お元気ですか。学院や旭川荘の周辺は、年々変わり、昔のおもかげが少なくなり、ちよびり寂しく思っています。また、学院の本館をながめるたびに学生時代がなつかしく思い出されます。現在、旭川荘の重症児者通園施設で、毎日頑張っています。開設当初から、今年で五年目を迎えます。壁にぶつかって、悩んだり、落ち込んだりすることもあります。常に、細き、生命力豊かな状態で仕事に、のぞむように心がけています。

保育科 山上 恵 (岡山県) 第8期生 (旧姓 山根) 巴久町

小説模から大規模園・西大寺保育園にかわって二年目。そして学院からの見学生に会ったのも二回目。全然知らない先生方と学生さんだけれども、どこか懐かし、そして「あー、あんな頃もあったなあ」と若さをうらやむ今日この頃。

ところで、みなさん、職業がって知っていますか。保育科になって十一年、未だに悩むことばかり。そんな私に明るい光を与えてくれたのが視業講座で

した。実践は伴わない私ですが、何事も前向きに受けとめていこうと思っています。

保育科 横溝美奈子 (倉敷市) 第11期生 (旧姓 小見山) 玉島

学院の諸先生方、保育科11期生の皆様お元気ですか。昨年の同窓会、岡山支部会では、幹事さんをはじめ、参加した皆様、とても楽しい一時をありがとうございました。また、参加してよかったです。また、お子様連れで来られていた方には、私の日頃の子供に接する態度を反省するよい機会を与えてくれて感謝しています。皆さん、一日中キーキーガミガミで少しもゆったりした気持ちで子供に接してなくて、まったく、情けない(トホホ)参加できなかった皆様もきつと毎日、忙しくなさっているんですよ。次の機会にはぜひお会いしたいですね。それでは、皆様、お元気でさようなら。

保育科 安立奈保美 (岡山県) 第12期生 (旧姓 松尾) 大佐町

学院を卒業して早十年が過ぎてしまいました。同窓生の皆さん、諸先生方、お元気でお過ごしでしょうか。皆さん、それぞれの場で、ご活躍のことと思います。

私は、卒業後、身体障害者療養施設大佐荘に就職し、三年後結婚し、現在に至っています。六才になった息子と主人の両親の五人家族です。早くもうひとり



保育園での実習風景

子どもをと、回りから矢の催促ですが、こればかりはしかたありませんよ。職場もみんな明るく、楽しくやっています。特養のおおさく苑と、大佐荘の両方の食事作りなので、対応も多様で、忙しい毎日です。

保育科12期生は、毎年夏に同窓会を開くというのですが、私はまだ参加したことはありません。懐かしい顔に会いたいです。

家庭というワケを少しづつ飛び越え、自分の生きがいを見つけて行きたいと思っています。

それでは、また会う日まで、ごきげんよう。

保育科 藤原 早苗 (新見市) 第13期生 (旧姓 武取) 高尾

御無沙汰しております。皆さんお元気でしょうか。また、13期生の皆さんも、それぞれ職場や、家庭で忙しくされていることでしょうね。

学院を卒業後、精進施設神郷の園に勤めていましたが、その後、自営業(鉄工所)に嫁ぎ、七年目で退職しました。現在は三才と一才の子育て中心という毎日を送っています。

就職した当時は、開園されたばかりだったので、入所者、職員全員が一人のスタートでした。学院で教わったことをすぐ実践することも多く、貴重な経験をすることができました。しかし、結婚、出産と、職場から離れてみて、「もっと理解してあげればよかった。」と反省することばかりがよかったです。「配慮してあげればよかった。」と反省することばかりがよかったです。今後、職場復帰は難しいでしょうが、身近なところで社会に貢献できたらと思っています。

保育科 秋田日出子 (岡山県) 第15期生 (旧姓 辻) 鴨方町

保育科15期生の皆さん、ごぶさたしています。この原稿依頼があった時、学院で過ごした二年間が懐かし思い出されました。ふだんは、家庭と仕事とで、忙しくバタバタと過ごし、いつのまにか月日がたつたという感じが、四年前にも、同窓会だよりに、お便りさせてもらいましたが、その頃は、主人と二人で気ままに過ごしていました。が、今では子供も生まれ、勝手気ままな生活は、どこへやらの状態です。二才と一才になるわんぱくぼうずたちは、私が仕事から帰るのを待ちかねたように、やんちゃを始められます。

夕方忙しいため、ついつい声を荒だてることも多く、いつも後悔をしています。こんな私でも、子供たちは、母とてくれ、これが幸せなんだろうと感じています。

また、皆さんも近況をお知らせください。

保育科 岡 佐恵子 (倉敷市) 第17期生 笠沖

むし暑い日が続きますが、諸先生方、そして、同窓会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

私は、現在の保育園に勤めて、六年めを迎えました。学生の頃と違い、責任という点での社会の厳しさを知り、又、実際に、子ども達を前に、どうしたら泣きやんでくれるのだろうか等、やはり保育にはむいていないのでは?と悩んだこともありました。でも、いつも子ども達の純粋な瞳、笑顔に励まされたので、今日までがんばってこれたのだと思っています。子どもって素晴らしいですネ。

今では、やりがいのある仕事、職につくことができてよかったと思っています。これからも、子ども達の笑顔と共に仕事にプライベートにと、がんばっていきこうと思っております。

最後になりましたが、皆様のご健康と、ご多幸をお祈り致します。

保育科 佐々木いづみ (岡山市) 第18期生 (旧姓 猪原) 郡

保育科18期生の皆さん、そして同窓生の皆さんこんにちは。私は、卒業後精神薄弱者更生施設「ときわ学園」に二年間在職し、今は結婚して岡山に住んでいます。現在は、八ヶ月になる息子と、二歳の育児に追われる毎日です。親になってみて初めて親の有り難味がある。という言葉は本当ですね。子供に教えられるながら親になっていくのだなと実感しています。時には失敗して落ち込みますが、立ち直りも早くなった様々思っています。又、皆さんに会える日を楽しみにしています。皆様もお元気で活躍下さい。

児童福祉科 時信 好江 (岡山県) 第22期生 御津町

学院を卒業して三ヶ月が過ぎようとしています。

現在、私は、園児数三十名、職員数五名の小規模な保育園で十八名の子ど

も達の担任として忙しい毎日を送っています。  
働き始めて、改めて「大変な仕事だ」と、感じていますが、四月にはできなかったことが最近できるようになった子ども達の姿を見ると、嬉しくなり、「保母っていいな」と思ったりしています。  
これまで、失敗も多々ありましたが、その失敗をバネにして、子ども達が、一日一日育っていくように、私も立派な保母に成長するよう、毎日を大切に努力していきたいと思っています。  
皆さんもそれぞれの職場でがんばって下さい。

◆福祉科・介護福祉科◆

福祉科 国定 美香 (岡山市) 第1期生  
「夏を気持ちよく過ごしたい」と、思っても、お年寄り宅への訪問がお盆近くになると、「あつ」と、つい口をだしてしまいます。  
私が、在宅介護支援センターで勤務をはじめ、二度目の夏がやって来ました。

在宅介護支援センターは、介護福祉士の新しい分野であると思います。  
一ヶ月前に約八件の相談があり、それに対応するために他の職種の力達や行政の方達との連携をとりながら相談に応じています。  
今まで毎日一つ一つの勉強であり、積み重ねであり、皆様に教えていただくことばかりでした。  
二年目の夏、がんばります。



症例発表

福祉科 文谷 雅世 (岡山市) 第2期生  
老人施設に就職して四年目になりました。マンネリ化しがちな勤務の中で忙しさに流されて、お年寄りの生活に影響を与えているのではなからうかと反省しています。自分の従事する介護とは何であったのかと葛藤が目増しに大きくなっていくように感じています。  
老いの中で余生を送るお年寄りの方々が、ただ単に人間が人間として生きる空間と時間ではなく、より住み易く暮らし易い場所であり、共に生活ができる場所であって欲しいとの想いが募ってきます。

介護福祉科 山本紀代美 (倉敷市) 第4期生  
皆様、お元気でお過ごしでしょうか。就職して、あっという間に一年が過ぎ、まだまだ未熟な自分を振り返ると、学院で過ごした二年間が、とても懐かしく感じられます。  
私は、現在、特別養護老人ホームの寮母として働いていますが、現場で学んだことは、基本中の基本でも、多々あります。その時その時で、老人の状態は、微妙に変わり、この人にはこの処遇で、というわけにはいきません。ただ、そこに接する楽しさがあるような気がして、私自身は、日々、それを求めているように感じています。

福祉科 赤木 裕美 (岡山県) 第5期生  
学院の先生方、お元気でお過ごしでしょうか。介護福祉科を二月に卒業しました。かわかみ看護園に四月一日から勤務しています。三ヶ月経ってどうにか仕事にも慣れてきました。学院で学んだことを生かして、私なりに、一生懸命頑張っています。現在、三十六名が入所され毎日が思わぬ苦闘ですが、同僚の寮母さんと力を合わせ、明るく、和やかな、かわかみ看護園にしていきたいと思っています。

学院の先生方、同窓の皆様方、暑い日が続きますのでお体には充分気を付けて下さい。

◆福祉情報科◆

福祉情報科 中田亜紀子 (岡山市) 第1期生  
福祉情報科並びに卒業生のみなさんお元気ですか？  
今年卒業された方は、そろそろ仕事にもなれてきた頃だと思いますが、いかがでしょうか。私の方は早いもので、学院にそのまま就職し、今年で三年目に入りました。が、あいま要わらず失敗の放出で周囲の先生方に迷惑の嵐をふきまらしている日々です。一体いつになったら一人前になれることか、とどろきあえず元気が一番、というわけでしょうか。みんなも体には十分注意して、これからも頑張ってくださいね。

福祉情報科 林 淳子 (岡山市) 第2期生  
私は現在、岡山旭東病院で医療秘書として頑張っております。卒業したその春に父を亡くし、社会人一年目目々からいろいろな面でとても大変でしたが、今は落ち着いて頑張っています。人と接する機会が多い仕事ですから何かと気を使いますが、良い職場に恵まれて本当に良かったと思います。これもお世話になった先生方のおかげです。また遊びに行きますね。  
松本先生/福祉情報科二期生の皆さん、お元気ですか。林は学生の時とかわらず元気ですのでご安心下さい。



情報処理講習会

◆第1看護科◆

第1看護科 菅原 文子 (兵庫県) 第2期生 (旧姓 竹迫)  
皆様には御変わりございませんか。あい変わらず私は主婦として、子育て、家事に追われる毎日です。学院を卒業して早や十二年、職場をはなれて七年の年月がたちました。  
子どもの成長と共にもう一度看護婦としての道を歩みたいと言う思いが日ごとに大きくなってきました。今度の同窓会が開催されるころには進む道も決まっていると思います。

第1看護科 森田奈緒子 (広島県) 第4期生 (旧姓 宗川)  
皆様、お元気ですか。毎年、秋に届けられる同窓会だよりを楽しみにしております。会員の皆様それぞれ立場、場所、頑張っておられることが、私にはとても大きな励みになっています。  
さて、私は、この春から再びナースチャップをつけて頑張っています。家事、育児、仕事のバランスがうまくとれず、自分の時間とれない状態で、結局どれも中途半端な気がして、前回の職場を離れて三年。でもまた、白衣が着たくなり、下の子が幼稚園に入つたのを機に再就職しました。今のところは、無理せず、パート勤務で主に入社ドックをお考えの方がおられましたら、ぜひトライしてみてください。若く、がむしゃらだったあの頃より、また、ひと味違う看護ができるような気がしています。

第1看護科 野島 篤子 (愛媛県) 第8期生 (旧姓 浮穴)  
学院の皆様、お元気ですか。原稿の依頼を頂き、久しぶりに学生時代の事を思い出して、懐かしく思っております。卒業して、はやく六年がたちました。この間、いろいろなことを勉強させて頂きました。良き同僚、先輩に恵まれ、そして、何より患者に教えられた事もたくさんあります。  
実は私、三月末で退職した所なのです。結婚し、子供を授かり、育児休業後、半年間働きました。もちろん、続けるつもりでした。でも、子供の病

第1看護科 正木 千恵 (島根県) 第8期生  
皆様、お幸せにお過ごしのことと思います。私は、学院で学んだ後、岡山大学教育学部看護学論特別科に進み、教員採用試験を経て、現在、島根県の小学校に養護教諭として勤めています。もともと看護婦を志していましたが、今は別の道で頑張っています。学院で共に学んだ皆様いろいろと心配をおかけした先生方、なかなかお会い出来ないのは、本当に残念ですが、学院での思い出は、今も胸に深く息づいています。皆で助け合って、支えあって過ごした三年間を、これからも忘れたいと思います。こんな私も夏には母になる予定。皆様もどうぞお体を大切にして活躍下さい。

第1看護科 今村 浩子 (広島市) 第11期生  
学院の先生方、同窓の皆さん、お元気ですか。  
早いもので、学院を卒業して三年の月日が過ぎました。現在私は、広島市民病院の産科センターに勤務しております。日々、分娩介助、新生児のケアに出られる毎日で、学院で学んだチャレンジ精神と、その後にとわりつつ失敗、くじけながらも笑顔で頑張っております。就職して三年目、少しは

第1看護科 菅原 文子 (兵庫県) 第2期生 (旧姓 竹迫)  
皆様には御変わりございませんか。あい変わらず私は主婦として、子育て、家事に追われる毎日です。学院を卒業して早や十二年、職場をはなれて七年の年月がたちました。  
子どもの成長と共にもう一度看護婦としての道を歩みたいと言う思いが日ごとに大きくなってきました。今度の同窓会が開催されるころには進む道も決まっていると思います。

第1看護科 森田奈緒子 (広島県) 第4期生 (旧姓 宗川)  
皆様、お元気ですか。毎年、秋に届けられる同窓会だよりを楽しみにしております。会員の皆様それぞれ立場、場所、頑張っておられることが、私にはとても大きな励みになっています。  
さて、私は、この春から再びナースチャップをつけて頑張っています。家事、育児、仕事のバランスがうまくとれず、自分の時間とれない状態で、結局どれも中途半端な気がして、前回の職場を離れて三年。でもまた、白衣が着たくなり、下の子が幼稚園に入つたのを機に再就職しました。今のところは、無理せず、パート勤務で主に入社ドックをお考えの方がおられましたら、ぜひトライしてみてください。若く、がむしゃらだったあの頃より、また、ひと味違う看護ができるような気がしています。

第1看護科 野島 篤子 (愛媛県) 第8期生 (旧姓 浮穴)  
学院の皆様、お元気ですか。原稿の依頼を頂き、久しぶりに学生時代の事を思い出して、懐かしく思っております。卒業して、はやく六年がたちました。この間、いろいろなことを勉強させて頂きました。良き同僚、先輩に恵まれ、そして、何より患者に教えられた事もたくさんあります。  
実は私、三月末で退職した所なのです。結婚し、子供を授かり、育児休業後、半年間働きました。もちろん、続けるつもりでした。でも、子供の病



看護科教育キャンプ(開谷学校)

余裕ができれば、ベビーが元気で誕生した時の喜びだけでなく、母と児の命を預る責任も改めて痛感しております。

今こうして筆をとりながら、あまり自らを振り返る事もなく三年間が流れたように思います。けれど、思うに、学院時代の楽しい事、苦しい事、さまざまな体験が今の自分自身を支えているように思います。

私の土台は学院から。くじけそうになった時、初心に戻りたい時、学院のことを思い出せる自分は幸せ者だと思います。又、機会があれば、学院の方へ足を運びたいと思っております。皆様もお身体にはくれぐれも気を付けてられ、ますますのご活躍をお祈りしております。

◆看護科・第2看護科◆

看護科 山本 基子 (岡山県 第2期生 山陽町)

同窓生の皆さんお元気ですか。再び近況報告をさせていただきます。と云うのが、何を書こうかなと古い同窓会だよりを読み返していたら、ありました。第十一回に私の投稿が。しかし、こりもせず再び投稿します。

高二であった長女も社会人とになり、総合病院の産婦人科病棟の看護婦二年生として頑張ってくれています。長男は高校卒業し、専門学校一年生、二男は来年高校受験の中学生です。私は相変わらず、旭川療育園に勤務して十二年目になりました。同窓生や後輩といっしよに楽しく仕事をしております。毎

日、学院の前を通勤しながら年々増える校舎をみて大変嬉しく思っています。皆様もぜひ一度立ち寄って、二十余年の歴史を振り返りながら、次々と整った校舎、周囲の環境をみて下さい。そして、昔学んだなつかしい風景を思い出してみませんか。

同窓会で皆さんと会えるのを楽しみにしております。どうぞ、家庭で、職場で頑張ってください。

第2看護科 井上 晴美 (鳥取県 第9期生 (旧姓片伊勢) 出雲市)

我が家の子供達も小学校の高学年となり、これからはますます忙しくなり、年頃へとさしかかってきました。そして、親として子供と、どう向きあっていったら良いのか、いつも事あるごとに悩み、手さぐりの状態です。

そんな私が勤務先により登校拒否の子供達とかかわりをもつことになりました。一見みんなどこにでもいる普通の小・中学生です。しかし、みんな自分に対して否定的で自信が全くないのです。

子供の気持ちやありのまま受け入れであげられるやさしさ、子供の話しに耳を傾けて聞き、共に考え、行動していくふれあい。子供の良いところを見つけ励ましていくことが、ポイントではないかと思っています。

旭川荘での二年間に、先生方や同期の皆さんとのふれあいを通し、やさしさや励ましを頂きました。あんなに劣等感の強かった私が、少しずつ自信を取り戻して来られたのも、あの頃の充実した学生生活があったからだと思返し、感謝の気持ちでいっぱいです。

学院での体験や思い出を大切にしながら、これからの人生も私なりに頑張っていきたいと思っております。

第2看護科 落畑さとみ (広島県 第11期生 甲奴町)

急に真夏のような天候になり、田舎町でも、暑い毎日が続いています。皆様お元気で御活躍のことと思います。皆様お元気で、今仕事に熱中しています。卒業して早一年経ちました。子育ても終わり、今仕事に熱中しています。看護も、コンピュータの時代になり、四十才すぎで初歩から習っています。が、なかなか使いこなすことができません。多分回されていいです。しかし、臨床場面では、自分の看護観を持ちながらも、患者さん個々に対する看護の難しさを痛感しています。でも、「ヤ

りがいのある仕事」と、それをバネにして頑張っています。

看護科になって、二十四年間ずっと精神科勤務です。まだまだ社会的に選り抜きの一生涯の仕事として頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。皆様方の御健康と御活躍をお祈り申し上げます。

第2看護科 赤堀 明子 (岡山県 第13期生 (旧姓野松) 備前市)

私は、専業主婦から看護職にもどり、やっとな年目に入り、看護婦らしくなりつつある(笑)今日この頃です。学生時代を含め九八年、医療現場から遠のいていて、再就職した時。医療は日進月歩、正にその通りでした。

呼吸器装着の患者を前に不安と恐怖で頭の中が空白、そして申し送りを聞いても、聞いたことのある用語でも何のことだったかなあ?と?のパニック。しばらくは、頭の中は、空白とパニックの繰り返し、そして家に帰れば二児の母、昼間接していない分、子供達は甘えん坊、子供達がねたら開こうと思つた教科書もそのままで、翌日、少しでも本を開けばよかつた、心の中で自分に対し腹立たしく情けなく、自分が嫌い、そんな状態でも、先輩、友人、いろいろな面で助けて、励まされ自分なりに、がんばっています。

生涯学習の時代といわれる現在、まさに私たち看護婦には、ふさわしい言葉だと思つておられます。

第2看護科 福田 純子 (大阪府 第19期生 (旧姓中砂) 交野市)

第2看護科19期生のみなさま、お久しぶりです。昨年の支部会では、お会いできてとてもうれしかったです。その後、お元気で頑張っておられますか。

私は、今年三月末で三年間勤務した病院を退職し、現在、主人の会社の近く近所へ引っ越しをしまして、専業主婦としております。子供は、まだおりません。

専業主婦をはじめ数ヶ月たちますが、最近では、やはり看護の仕事がしたくて、職場を探しています。以前の病院では、本当にさまざまなことを学び、看護婦としては、とても成長できたと思っておりますが、勤務体制とか、人間関係がうまくも看護婦なんてイヤだ!と思ひ、逃げるように今のところへ引っ越してきたのに、もう看護婦がしたいと思ひながら、私ってやっぱりナースが好きなのかなあと思つづく思ひます。この文章が同窓会だよりになるころには、すでに備わっているかも知れません。

岡山へ行くことがあれば、ぜひ学院にも寄らせていただきたいと思います。

また、19期生の皆様は、お会い出来る日をたのしみにはしています。

では、皆様、おからだには気をつけて、頑張ってください。

第2看護科 石井 真澄 (岡山県 第20期生 (旧姓福田) 賀陽町)



戴帽式(第1・第2看護科)

今年もまた、私の勤めているHPに新人さんが多勢就職してこられました。その中に、旭川荘卒の新人さんが何名いらっしゃいました。とても嬉しくも思いましたし、自分が就職した頃を懐かしく思いました。不安と緊張、理想と現実。毎日が忙しく、また充実していて、あつという間に一日一日が過ぎていたように思います。

今は、少しゆとりが出てきて、自分のしたいこと(看護など)も少しずつですが、現場で実践に移すことができるようになりつつありますが、まだまだ未熟で一つ行つては、二つも三つも反省することが増えてきたらと思つておられます。

前回の同窓会だよりで、結婚する事を皆さんに報告したと思ひますが、今回は八月に赤ちゃんを出産することを

皆に報告しておこうと思ひます。来年四月には、職場復帰する予定です。また、皆さんに会える日を楽しみにしています。

第2看護科 静岡 義樹 (鳥取県 第22期生 浜田市)

この四月より、鳥取県の院体不自由児施設で働いています。一般病院のように、学校で学んだことがすぐに役立つ、知識技術がどんどん上達していくという訳には行きませんが、在学中より課題としていた非言語的コミュニケーションを、今では子供たちとの生活の中で学んでいます。

仕事を始めて一番感じたことは、やはり看護婦(士)の責任の重大性でした。毎日報復しています。これからも、今の緊張感を忘れずに日々成長していく看護士でありたいと思ひます。それでは仕事、遊び、身体には十分気を付けて頑張ります。

編集後記

○本年度は本部総会開催の年に当たり、本部役員は、いま、その準備に追われてます。近頃や職場の皆様お話し合わせて多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

○今回の「同窓会だより」は、総会のご案内を兼ねたため発行を約二カ月前めしました。理事会始め役員の皆様のご協力と発行に漕ぎつきました。

○同窓会活動、特に総会・支部会、更に「だより」の内容などについて、皆様のご要望やご意見をお聞かせください。

○昨年、この「だより」が移転先不明などで相当数返送されました。一度返送されずとも以後送付を見送っています。届かなかったり、改姓、転居、勤務先変更など、身元の変更の方はご連絡下さい。

○宛名簿は、平成三年作成のものですが、現在までに判っているだけでも四百余名の方に異動があります。次の名簿作成のために手入れは続けていかねばなりません。ご協力をお願いします。

○本年の卒業生の皆様は、名簿ができておらず、お手元に届いていないものと存じます。元気で活躍のことと存じます。今後とも名簿を活用して、同窓の輪を広げていただきたいものと願っています。

○今後、異動の際は、事務局へもご連絡ください。

○昨年の初夏にくらべて、今年の夏は厳しい暑さと水不足になりそうです。お水の節約から水回りに注意しなうう願っています。健康に留意してください。

(七月十日 岡本記)